

## ニューフェイスコーナー

### 地域複合型施設に併設した診療所の役割と 今後のへき地医療の展望

防府医師会 山口市徳地診療所

中嶋 裕

山口市徳地診療所は、2022年11月に山口市徳地地域複合型拠点施設内に開設されました。管理者をしております私は、自治医科大学を2002年に卒業し、山口県立総合医療センターで研修を行い、下関市立豊田中央病院、萩市見島診療所、下関市立角島診療所などで勤務し、義務年限終了後は山口県立総合医療センターへき地医療支援部に所属しています。その間に3年間の保健所（周南健康福祉センター）の勤務も経験し、山口県のへき地巡回診療やへき地診療所の代診、院内では感染対策室、DMAT（Disaster Medical Assistance Team）活動などに従事してきました。また、現在も山口県立総合医療センターへき地医療支援部と山口県医療政策課医師確保対策班・新型コロナウイルス感染症対策班との兼務をしています。

山口市徳地診療所の経緯と組織運営について簡単にご案内します。

まず、山口市徳地診療所の指定管理前、公益社団法人地域医療振興会（以下、「JADECOM」）とくち診療所は、2021年5月から亀田医院の閉院を引き継ぐ形で山口市徳地地域に唯一の診療所として、診療所施設は旧井上医院をお借りして開院しました。JADECOMは自治医科大学の卒業生を中心に、へき地医療を支援することを目的に設立されました。日本全国の地域・そこに住む人々・

医療に携わる医療人の三者が幸せになれる未来を作っていくための活動を行っている団体です。運営施設は86施設（2022年7月現在）あり、市立病院・公立診療所などの自治体医療福祉施設を指定管理・運営するほか、医師・看護師・その他職員の支援派遣等に取り組み、地域医療を支えています。

山口市徳地は人口およそ5,000人、高齢化率は50%を超えます。山口市徳地には、従来4つの民間医療機関と2つの公設診療所（週1回）、巡回診療が1か所ありました。2021年4月時点で、その地域で民間医療機関は亀田医院が唯一の診療所となっており、亀田美久先生は80歳を超えていらっしゃいました。引き継いで感じたことは、患者さんの数の多さ、また多様な疾患への対応、在宅医療のニーズなどでした。私は山口県のへき地医療に従事し、また日本プライマリ・ケア連合学会に所属し家庭医療の専門性を磨いているつもりでしたが、これらを一手に引き受けることは想像以上に大変でした。その大変さから、こういった中山間・へき地において地域包括ケアの柱でもある、保健センター・地域包括支援センターとの協働は不可欠であり、地域における保健・福祉・介護・医療の一体化は効率化また相乗効果の点でも大事だと、より一層思うようになりました。

ほぼ同時並行になりますが、この時期に山口市徳地ではちょうど2022年支所建替移転に向けた

プロジェクトが進んでいました。いろいろな方に相談しながら、当時の山口市副市長（現 伊藤山口市長）にも相談させていただく機会があり、地域一体となった物理的また機能的な連携を複合施設内に統合するなどのイメージを共有させていただきました。以前より地元から、支所への診療所併設の要望書の提出が市にはありました。そういった中で、機能集約化構想の議論の中でさまざまな検討をされていたようですが、当初、実現には至っていませんでした。それらの経緯を踏まえ、最終的に支所への診療所併設が実現したものと推測しています。その後は、正式に山口市徳地診療所として指定管理委託の公募があり、JADECOCOM とくち診療所としてエントリーし、選考委員会による審査を経て、現在の指定管理を受けるに至りました。

少し話は変わりますが、スタッフの所属について説明をします。私は山口県立総合医療センターと JADECOCOM の協定に基づき、山口県立総合医療センターに所属して医師派遣という形で管理者を行っています。協定により、私は週1日山口県立総合医療センターでの業務を行い、その間の診療所業務はへき地医療支援部から医師派遣をいただいています。また、私が急病などで診療所の業務継続が難しい場合は、へき地医療支援部から代診をしてもらい、へき地における安定的な医師確保が図られています。その他のスタッフは、JADECOCOM の職員として雇用され、徳地診療所で勤務しています。こういった JADECOCOM 運営施設と地元基幹病院との派遣協定は、JADECOCOM でも珍しく、山口県立総合医療センター、特に理事長の岡 紳爾 先生及び院長の武藤正彦 先生のへき地医療へのご理解またご協力なしには達成できなかったと思っています。また、スタッフの労務管理・研修システムの利用などを全国組織の JADECOCOM 本部管理の下で実施しています。山口県の JADECOCOM 施設は徳地診療所ですが、診療所スタッフは現場で起きている課題を JADECOCOM が運営する他の地域のへき地診療所での運用を参考にできます。加えて、必要があればスタッフは全国の法人施設の同じ職種に相談する

こともできるネットワークは、大変心強いです。

前身のとくち診療所時代から、現在の徳地診療所までおよそ2年こちらで診療をさせていただき、少しずつですが来院患者さんも増えていきます。定期的な受診に加え、予防接種や特定健診などの予防活動、またコロナ禍における発熱対応やちょっとしたケガの対処、地域に根ざしたプライマリ・ケアの診療活動ができているのではないかと考えています。

在宅医療にも取り組んでおり、自宅で過ごしたい人にとって、必要な医療を受けられるよう頑張っています。在宅医療は診療所だけで完結しませんが、当地には訪問看護ステーションがないので、町外の訪問看護ステーションとの連携を図っています。ステーションとの物理的距離も離れており、MCS（メディカルケアステーション）なども活用して情報共有しています。そして病状によっては入院治療や専門的な診療が必要な場合もありますが、その人の置かれているライフステージや病気の経過やまた家族の状況に応じて、主疾患かかりつけ病院、二次救急病院、療養型病床を有する病院など、多くの医療機関の皆さんにもご支援をいただいています。

地域唯一の診療所でもあり、支所（市役所）に併設する診療所のおかげで、地域包括支援センター・保健センターとは物理的・精神的な距離はととも近いです。地域ケア会議への参加や保健活動についての定期的なミーティングをもっており、業務の上でもよりハードルを低く連携しています。地域の困りごとを把握されているケースも多く、こちらが診療の場面で察知したその人の健康や生活にとっての困りごとにも相談します。相談の結果、介護や福祉また生活面でのアドバイスをもらうことができ、より多面的で重層的なケアに繋がっています。

次世代の育成も大事にしていきたいと思っています。山口県が主催し、県内10市町で医学部、看護学部、薬学部の学生を中心に、広く山口県の

地域医療を学ぶ「やまぐち地域医療セミナー」にも、診療所開設以来引き受けを徳地地域でしています。また、卒前・卒後の研修も積極的に引き受けています。臨床研修の地域医療研修・地域外来研修だけでなく、医師会立看護学校や大学看護学部の地域・在宅看護の実習の受入なども継続的に行っています。高齢化が進む地域での地域包括ケアの実践やプライマリ・ケアの視点を見て学ぶこと、肌で感じてもらうことを大事にしています。そして現地で奮闘するわれわれ専門職も、決してその答えをもっている訳ではなく、日々いろいろな課題や倫理的な問題などに苦慮しながら、より良い地域活動を目指していることを知ってもらう機会にしたいと思っています。

最後になりますが、無医地区への医療提供へのチャレンジについて少し触れておきたいと思えます。徳地には無医地区が2か所あります。そういった無医地区への医療・ケアをどのように届けるか？について考えています。その中で令和5年4月から無医地区への巡回診療を始めました。巡回診療の場所は、廃校になった小学校を改修した地域の集会所で、間隔は2週間に1回です。集会所は診療スペースがなく、その施設にあった和室のカーテンを下ろし、部屋を区切って診察室の代用として使用していました。開始当初は地域の皆さんも、身近に医療・看護が届いたところで、何がかわるのか？何をしてくれるのか？状況がよく伝わってないこともあり、来院患者も限られていました。継続的に地元に向うことで口コミで拡がり、おかげさまで少しずつ受診患者も増えていま

す。定期的な通院やフットケアを交えた健康相談など、身近な課題を医療・看護の視点で支える場所ができつつあると思っています。

また、その無医地区の巡回診療に「地域DX」の一環として移動の利便性を高める医療Maas (Mobility as a Service) を導入しました。2023年10月から巡回診療車MEDICAL MOVER<sup>®</sup>と遠隔診療システムTeladoc HEALTH<sup>®</sup>を用いて、巡回診療を実施しています。この取り組みにより、地域の健康な生活を守るための新たな方法を提供したいと思っています。巡回診療車は、ハイエース車両を診療ができるように診察室として改装しています。巡回診療車導入後は、集会所を待合室として活用しつつ、診察は巡回診療車の中で実施できるようになりました。遠隔診療システムを利用したオンライン診療も順次実施予定にしています。これらの無医地区での取り組みを一つずつ検証しながら、同様の中山間やへき地の医療提供体に向けて応用できる情報提供もしていきたいと思っています。

地域に唯一の診療所として、プライマリ・ケア機能を発揮し、今できることにチャレンジをしながら、地域の課題にも取り組んでいきたいと思っています。地域社会との協力を大切に、地域の皆さんにとってより良い医療提供を続けていきたいと考えています。

**多くの先生方にご加入頂いております！**

**お申し込みは  
随時  
受付中です**

医師賠償責任保険
所得補償保険
団体長期障害所得補償保険
傷害保険

詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

取扱代理店	山福株式会社 TEL 083-922-2551
引受保険会社	損害保険ジャパン株式会社 山口支店法人支社 TEL 083-231-3580

**損保ジャパン**